



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**53**号

平成24年4月18日

河津町議会だより



さくら幼稚園入園式

主な内容

- 平成24年第1回定例会（要旨）…………… 2 P
- 予算審査特別委員会…………… 3 P
- 町長施政方針及び行政報告…………… 4～5 P
- 議案説明…………… 6 P
- 一般質問…………… 7～10 P
- 一部事務組合議会報告…………… 11～12 P
- 議会の主な活動報告…………… 12 P

平成24年 第1回定例会 (要旨)

3月6日より16日まで11日間の会期で開催。

議長の諸般の報告につづき、町長施政方針、一般質問は4議員が行った。議案は人事案件1議案、条例案件7議案、指定管理者の指定案件5議案、規約変更議案3議案、町道認定案件1議案、町道変更案件1議案、財政調整基金の取崩し案件1議案、23年度補正予算5議案、24年度予算9議案を審議した。

規約変更の共立湊病院組合の案件が否決され他32議案は原案可決した。

なお平成24年度予算案は予算審査特別委員会に付託し審議され3項目の意見書を附帯した。

可決した平成24年度予算 (単位千円)

- 河津町一般会計予算 3,535,000
- 河津駅前広場整備事業特別会計予算 9,389
- 河津町土地取得特別会計予算 362
- 河津町国民健康保険特別会計予算 1,305,064
- 河津町介護保険特別会計予算 753,158
- 河津町後期高齢者医療特別会計予算 99,310
- 河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算 7,511
- 河津町水道事業会計予算 292,115
- 河津町温泉事業会計予算 122,644

可決した平成23年度補正予算 (単位千円)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○一般会計補正予算 (第8号) 歳入歳出 17,116減額 総 額 3,635,520 ○国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) 歳入歳出 27,724減額 総 額 1,313,643 ○介護保険特別会計補正予算 (第4号) 歳入歳出 6,649追加 総 額 719,705 | <ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者医療特別会計予算 (第1号) 財源構成 0 ○水道事業会計補正予算 (第3号) 資本的支出 3,655減額 資本的支出総額 148,170 |
|--|---|



予算審査特別委員会

予算審査特別委員会は平成24年度予算案9件につき9日12日13日14日の4日間審査をした。

予算審査特別委員会

委員長…宮崎啓次

委員…小林和子、土屋 貴、渡邊 弘、吉田重好、稲葉 静、川下英一、萩原清男、山田 勇、土屋桑太郎、坪井弘司

予算審査特別委員会の意見

1) 防災意識の高揚について

土砂災害・津波等、大災害に対する町民の防災意識の高揚に、尚一層努力されたい。

2) 町民の健康づくり支援について

関連部署（総務課、保健福祉課、まちづくり推進課、町民生活課、産業振興課、教育委員会）の連携強化を図られたい。

3) 花のまち河津について

花のまち河津として、田中バイパスの早期完成と花卉園のさらなる充実、桜公園化を含め河津桜の育成に努力されたい。

議員説明会 2月28日

- ・指定管理者の選定について（総務課長）
- ・河津バガテル公園中期経営計画について（河津バガテル公園専務）
- ・河津バガテル公園からの要望について（町づくり推進課長）
- ・花卉園の方向性について（産業振興課長）
- ・温泉会館の運営方針について（産業振興課長）
- ・学校給食センターの自家発電機の設置について（総務課長）
- ・河津町介護保険事業計画の概要について（保健福祉課長）



議会全員協議会 3月22日

- ・共立湊病院組合規約の全部変更について
- 共立湊病院組合の事務局長他2名出席で疑問点に対する説明を受け議論した。

平成24年第1回臨時会 3月28日

- ・共立湊病院組合規約の全部を変更について
- 質疑をし可決

町長の施政方針及び行政報告 (抜粋)



施政方針

平成24年度当初予算

内外とも大変厳しい経済環境の中、第4次総合計画の基本施策に沿って作成。一般会計当初予算、35億3,500万円、前年比6,100万円1.8%の増。歳入は、町税全体で3.9%の減。自主財源は基金等の繰入れにより前年比4,462万3千円の増。自動車取得交付金・地方特例交付金は減額、他の交付金は同額又は微増、地方交付税は国の方針等を勘案し同額、国庫支出金は、子供手当の制度改正に伴い減額、県支出金は、子育てモデル事業の採択により増、町債は事業実施で10.5%の増。依存財源は1,637万7千円、前年比0.7%の増。歳出、人件費は微増、子供手当給付金の減による扶助費の減で義務的経費は5,500万7千円、前年比3.7%の減。物件費、維持補修費等の経常経費は7,740万円、前年比2.5%の減。投資的経費は、谷

津地区観光施設整備事業や、町道矢野宮田線の道路改良事業で、1億5,040万6千円の増、前年比86.9%の増となった。

平成24年度主な事業

●総務課関係

平成23年度末での退職予定者は2名、新規採用2名を予定。行政課題への対応資質の向上を図るため、県との人事交流を行う。防災対策及び消防関係については大震災の教訓を踏まえ、各自治会からの推選を受け防災士の資格取得制度を創設。防災行政無線、機器の老朽化に伴い、県の実施する事業と一部共同により平成25年12月より運用を開始する予定。

●町づくり推進課関係

町内の自然資源を活用して小水力発電設備の整備に取り組む。国民宿舎「かわづ」、河津町耐震化改修計画により平成27年度末までに耐震化を実施検討する建物のため、整備検討委員会を設置し今後の方向性を検討。白馬村との姉妹都市関係事業は、本年度提携30周年を迎え、町民参加型の交流事業を行う。河津バガテル公園、平成24年度1年間株式会社バガテル公園が指定管理者として管理運営を図っていく。

●町民生活課関係

町税の課税について、固定資産税、平成24年度評価替えに向け、基礎資料の更新等の業務を㈱パスタに委託して実施。合併処理浄化槽設置関係、平成24年度より新設の場合、建築基準法による義務化を踏まえ補助を廃止し、単独処理槽からの設置替えに限り予算の範囲内で補助。

●保健福祉課関係

地域福祉・高齢者福祉・及び介護保険事業等各計画は、本年度住民代表、各種団体の参加を得た策定委員会を設置し協議、平成24年度から平成26年度までの1号被保険者の介護保険料の標準額となる第4段階を月額3,200円から4,000円に率にして25%増を町民にお願いすることとする。

●産業振興課関係

谷津地区観光施設整備事業、平成24年度は道場跡地に仏像展示収蔵庫を建設し、埋もれた歴史的資源である県指定重要文化財の仏像を町の観光振興に活かす。町営温泉会館については、温泉資源の有効利用と観光の発展、福祉向上のため町内で2施設を運営してきたが、施設の老朽化のため、温泉会館在り方検討委員会の提言を受け、サンシップ今井浜については、本年9月末

をもって閉館することとした。

●建設課関係事業

道路改修事業、地区要望の対応として川津筏場内町道矢野宮田線道路改良工事を実施、総事業費は、約5,100万円で早期に完了させる予定。橋梁維持事業、社会資本整備交付金事業で橋梁長寿命化事業計画で、予防保守的な維持に向け、平成24年度は65橋の点検調査を実施。水道事業、大堰浄水場耐震化整備事業、機械装置電気設備の整備が急務、電気設備改修工事設計業務委託を本年度実施。

●教育委員会関係

教育振興関係、本年度実施する建物の定期検査に合わせ、各小中学校が建設後25～33年を経過、中長期的な改修計画を作成。学校施設の管理、西小学校の校舎及び体育館屋根の防水工事を実施。

行政報告

●町営バスの更新

入札を行い(有)鈴木モーターズが267万7,500円で落札し契約した。

●消防ポンプ車購入

消防第5分団ポンプ自動車、㈱畠山ポンプ製作所から購入し、平成24年2月に第5分団へ引き渡した。

●津波避難訓練

東日本大震災から1年が経過、県内一斉の津波避難訓練を実施、町では3月11

日下河津地区で観光客の避難誘導を含め行なった。

●駿東伊豆地区消防救急広域化

8市8町で協議してきたが、再度協議会に参加する市町で法定協議会を設立し、平成25年4月から広域化を目指す。

●町税の収納状況

町税全体で7億2,884万9千円で0.46%の増、滞納繰越分は1,422万7千円で前年比2.55%減。国民健康保険税は現年度分2億3,481万5千円で前年比1.9%増。滞納繰越分1,886万5千円で前年比3.59%の減。本年度静岡地方滞納整理機構による河津町の移管分は10件で1月末現在466万8千円の成果。

●共立湊病院組合関係

新病院「下田メデカルセンター」は、4月17日に竣工式を行い5月1日開院予定。

●上地区地域医療

現在旧稲葉医院を借用し上河津診療所として運営しているが、新たに下佐ヶ野地内に土地を借用し、本年8月頃開院を目指し建設中、新診療所は医師が常駐する施設となる。

●河津桜ツーデーマーチ

14回目を迎えた今大会は七滝地区の落石の影響と河津桜開花の遅れもあり、2日間で1,006人の参加、各種運営にご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

●第22回河津桜まつり

2月5日から3月10日まで約1ヶ月の開催、本年も昨年に引続き、B級グルメイベントを開催、多くのお客様に喜んでいただいた。本年は開花の遅れから来客数は伸び悩み100万人達成は難しい結果であった。

●緊急経済対策

平成25年12月末日まで。木造住宅新築・増築の場合、固定資産税相当額を助成、新築は15万円、増築は10万円(但し2分の1)を限度とし3年間助成。

●建設関係工事入札

泉奥原水源取水設備改修工事、㈱二和工業1,942万5千円で落札し契約した。川横地区水道管布設工事、(有)寺林工務店が1,113万円で落札し契約した。町道佐ヶ野1号線道路改良工事、㈱大塩組が114万9,750円で落札し契約した。町道沢田峰線道路拡幅工事、㈱東海建設が365万4千円で落札し契約した。

●河津町都市計画マスタープラン

町民参加による策定委員会を組織し、地域説明会を開催し意見の集約を図り、工程計画に沿ってまとめていく。

●第40回下田河津駅伝競走大会

本大会には、中学、高校、一般合わせて80チームが参加、河津中女子が6年連続で優勝、河津中男子とオール河津がそれぞれ3位に入賞。

委員の選任・条例改正・規約変更・補正予算・新年度予算等

- 同意第1号
固定資産評価審査委員会委員
下佐ヶ野 稲本 徳正氏
- 議案第1号
河津町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 議案第2号
河津町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第3号
河津町税条例の一部改正について
- 議案第4号
河津町介護保険条例の一部改正について
- 議案第5号
河津町職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部改正について
- 議案第6号
河津町公民館条例の一部改正について
- 議案第7号
河津町文化の家設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 議案第8～12号
公の施設の指定管理者の指定について
- 議案第13号
共立湊病院組合規約の全部変更について
- 議案第14号
賀茂郡介護認定審査会共同設置規約の一部変更について
- 議案第15号
賀茂地区障害認定審査会共同設置規約の一部変更について
- 議案第16号
町道路線の認定について
- 議案第17号
町道路線の変更について
- 議案第18号
財政調整基金の取崩しについて
- 議案第19号
平成23年度一般会計補正予算（第8号）
- 議案第20号
平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第21号
平成23年度介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 議案第22号
平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 議案第23号
平成23年度水道事業会計補正予算（第3号）

平成24年度予算について

- 議案第24号
一般会計予算
- 議案第25号
河津駅前広場整備事業特別会計予算
- 議案第26号
土地取得特別会計予算
- 議案第27号
国民健康保険特別会計予算

- 議案第28号
介護保険特別会計予算
- 議案第29号
後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第30号
国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算
- 議案第31号
水道事業会計予算
- 議案第32号
温泉事業会計予算

新規事業（単位：千円）

- 学校施設改修計画策定業務 …… 1,000
- 西小学校校舎・体育館防水工事 …… 16,700
- 谷津地区観光施設整備事業 …… 107,000
- 河津駅前広場整備事業 …… 6,300
- カーネーションポット苗栽培技術研究事業 …… 1,000
- 国民宿舎整備検討事業 …… 1,305
- 矢野宮田線道路改良事業 …… 51,155
- 海岸避難誘導看板設置事業 …… 1,300
- 再生可能エネルギー推進事業 …… 7,305
- 商工会館耐震診断補助事業 …… 1,200
- 防災行政無線共同整備負担金 …… 34,600
- 町ホームページ改修事業 …… 1,771
- 町制要覧の作成 …… 964

一般質問

補助金・負担金の交付状況は

町長－申請に基づき厳しく査定している

質問…毎年決まった金額の、補助金、負担金があるか。交付先より申請、要望があるか。
町長…補助金は、個人、各団体から申請を受け、内容を精査して決定している。団体が実施する特定の事業支援と、町の事業と密接な関係にある団体の運営に対する補助がある。補助金制度はある程度のルール作りをし、算定に乗った補助をしていきたい。
総務課長…交付状況は内容を精査し交付している。

24年度予算は、総数289件、総額7億4,300万円です。交付先は、東河環境センター、下田地区消防組合、共立湊病院組合、伊豆斎場組合。町内が36件、他郡、県、国の負担金があります。
質問…予算策定は、どんな面に視点を置いて取り組んだか。
町長…申請に基づき、事業主体、適性、効果などの検討をし厳しく査定をした。



保健福祉課 包括支援センター、社会福祉協議会

高齢者福祉計画、介護保険計画について

町長－3年間の計画(サテライト型)は見送った。予防事業の充実

質問…24年度からの3ヶ年計画に、地域密着型特別養護老人ホーム(サテライト型)は盛り込まれたか。居宅型介護の現状の取り組みは。
町長…特例補助制度が23年度で終了に伴い、サテライト型施設整備は見送った。
保健福祉課長…計画について、3年後の高齢化率、介護認定の状況を見て計画をたてた。居宅型介護は包括支援センターの充実と福祉部門の業務集中がされており、訪問事業等きめ細かく取り組んでいる。

質問…介護事業財源問題もあるが、人員不足による住民サービスの低下はあるか。
保健福祉課長…限られた人員で仕事をしている。保健福祉も社会福祉協議会も、同じ場所での仕事なので、情報の共有ができ、良い環境にある。



渡邊 弘 議員

河津史の社会教育

町長－まちづくりは人づくり 歴史、文化を後世に

河津史の研修・社会教育について
質問…自然環境、歴史文化も含め子供たちに、社会授業の取り組みは。町民の皆様に向けた講座の実施は。
町長…まちづくりは人づくり。歴史、伝統文化は大切であり、後世に伝えることを進めていきたい。
教育長…子供たちには、河津を知る事が大切である。現在、小学校では教科で、暮らし、歴史等取り入れています。働く人たちの場所の見学、話を聞くなど取り組んでいます。
質問…谷津南禅寺の整備事業を機会に、町民の皆様に向け歴史講座など取り組まれるか。
教育長…歴史文化を学ぶことは大切と考えます。点在している文化財を、古代から現代「伊豆の踊り子」まで、つなげる案内図も考えたい。

河津バガテル公園に対する町の支援は

町長－指定管理料・土地や建物の
減免・公園整備等がある

質問…21年度は1,904万円、22年度は2,857万円、23年度は2,200万円の指定管理料を払っている。このほかにどんな支援をしているか。

町長…指定管理料について

は、24年度も支出予定。調査研究しており、今後提案する予定である。町においても専任者を決めて、綿密な連携体制をとる。

まちづくり推進課長…土地

建物の減免の他施設の管理料や修繕費などで約1,500万円余りの支出がある。

質問…予算と実績の乖離が大きい。目標管理がなされていないのではないかと。

町長…売り上げ目標に対し約6,000万円の差異がある。専務に対し、各部門の予算と実績の徹底管理と中期経営計画の徹底を指示した。

質問…まずやるべき事は、24年度計画の実践である。収支計画



河津バガテル公園

変化の兆し

予算の町長査定は

町長－5項目の重点テーマは新規事業を含め措置

質問…経費5%削減と重点テーマの進捗状況はどうか。

町長…地域の防災力を強化すべく防災士を育成。小水発電にも県と協力して対応。

総務課長…人件費、扶養費、公債費等を中心に3.7%の削減。物件費は2.3%の減。必要な部門の増もあるが、

全体での削減に手を付けた。

質問…過去に行政改革推進委員会条例により成果を上げた。行政の効率化を目指す期間を作る計画は。

町長…事業の選択と集中による施策の重点化を行う為にも必要。基本的な考えを整理した上で検討する。



土屋 貴 議員

や活動計画が示されていないが、どう考えているのか。

町長…社長として、3月末に全社員を集めて、売上予算の必達と平成26年度単位年度黒字化に向けて長期的視野に立った活動をするよう徹底する。

防災・震災対策は

町長－県や国においても検討中であり
情報収集を高めて、地域防災計画を見直す。

質問…観光立町の観点からも、河津城跡公園周辺は避難地として、整備できないか。震災対策としての水道整備計画はどうか。

町長…避難所・避難地の確保は重要な課題である。最適な場所を確保すべく、進めていく。

建設課長…平成21年に河津町水道事業基本構想を策定した。まずは、大堰浄水場建設整備耐震化を24年度に終わり、25年以降電気・送配水管・水源整備・配水池の築造を実施する。

放射能対策は

町長－独自調査の予定はない

質問…住民が独自に放射能検査をしている現状がある。対応は。

町長…県内4ヶ所で空間線量の測定公表をしている。海水浴シーズンには実施をした。特別な状況変化があれば対策は講じたい。

質問…給食用食材は安全か
教育委員会事務局長…食材の多くは学校給食会から購入。会では県内産を多く取り扱い、主食・副食・果物等については県の放射性物質検査機関により確実な検査が行われ、規制値を超えるものは出荷されない。牛乳は小中ともに県内生産された原乳の加工乳である。幼稚園は業者の製品だが日本乳牛協会が独自に検査した結果、安全が確認済。今後情報に注意しながら安全の確保に努めていきたい。

産業振興課長…農畜産物の検査は、県内全ての地域で規制値の範囲内と検査機関より報告発表あり。



モニタリングポスト、下田市

質問…児童・生徒への放射線教育は。父兄への啓発は。

教育委員会事務局長…文部科学省が24年度にむけ副読本を作成している。それに沿って指導をしていく予定。中学では2年生に放射線基礎知識の授業を行ったという。父兄への情報提供については教育委員会として考える。

総務課長…線量計は町に一台あるが、今年度使い勝手の良いものを購入の予定。

土砂災害の危険について

町長－基礎調査が進行中

質問…ハザードマップの中に地すべり等200数箇所の地域の現状把握・整備・対策などはどうか。

町長…指摘の所は現在計画を作成中。土砂災害などの危険地域を指定し図った上で、事業計画に結びつけられればよいと考える。そのための県の調査である。今年度は防災士の役目も重要と考え、育成のための費用を予算計上した。

建設課長…基礎調査は24年～27年迄の県の事業。内容は土砂災害警戒区域と特別地域の指定をする事業。

警戒区域に指定されると、災害防止の避難体制が整備されハザードマップが配布



小林和子 議員

される。災害防止の各種情報に注意し避難場所の確認という様なソフト対策部分の強化がはかれる。

特別警戒区域に指定されると 1)住宅建築には建築確認が必要 2)特別開発行為には許認可が必要 3)建物移転の勧告など規制がかかる(移転については資金援助がある)という内容である。指定を受け事業化されるためには、要件が適要となって、要望をあげ土木事務所に更に要望してやっていただく事となる。

総務課長…土砂災害発生し易い状況の時には防災から避難準備・勧告・指示等を発信する。その判断に気象庁の防災情報提供システム・県サイボスレーダーを使用する。どちらもインターネットで閲覧可能なので各種の情報に注意していただいて、被害が最小限に食い止められるよう図っていく。

☆「サイボスレーダー」とは県が開発配備した「静岡県土木総合防災情報システム」のこと。国交省、県、気象庁の雨量水位情報気象情報等をリアルタイムで県土木防災情報センターに集約し、処理して見やすい画像処理をして表示するもの。

バガテル公園の予算と決算見通しの差異について

町長一原因は入場料収入の減少と 過大な予算計上

質問…平成23年度の株主総会資料によると、平成23年度売上予算総額は2億7,801万円とっている。2月28日付で発表された中期経営での23年の見通しでは、2億1,338万円であり予算と決算見込みの差額が6,463万円である。予算と決算の差異が著しくその原因は。

町長…原因は入場料収入の減少と過大な予算計上であり予算管理がされていないのが要因である。

質問…土地・建物の減免毎年変動する指定管理料の支払いは納得しがたい。指定管理料は議会には上程しているが、土地建物の減免は町長承認として処理されている。その減免額は平成20年から22年では9,463万円に達している。会社は存続しているので減免額を特別損失として処理すべきと思うが。

町長…指定管理料は24年度以降 算出方法調査中であり方法が固まり次第上程したい。建物・土地の減免については特別損失の計上は考えていない。

副町長…公認会計士の処理判断は改めて確認したい。

質問…人件費は売上の55.27%で異常に高い。会社再建のため20%位削減が



七滝観光センター・国民宿舎の今後の計画と経営状況は

質問…七滝観光センターや国民宿舎は黒字経営をしてきた。設備投資をして顧客ニーズに対応するのが企業ではないか。今年度の経営状況はどうか。

町長…七滝観光センターの第一四半期は、大変厳しい

売上で前年度80.6%。7月から1月は、落石事故もあったが前年比101.2%。2月が厳しく3月は回復すると見込み、年間で前年比86.5%を見込んでいる。

国民宿舎は、今年度中に整備検討委員会を設置し、



坪井弘司 議員

必要であると思うが。

町長…大変低い給料体系で少数精鋭でやっている。

パート社員も最低賃金に近い時給である。

一部事務組合議会報告

共立湊病院組合議会

1月25日に全員協議会が開かれた。

議事は

☆跡地利用について

用地の転売はしない。

委員会を開き公募をする
☆組合規約の改正について
管理者の名称変更など

☆平成23年度病院事業会計
補正予算について

交差点の改良費・追加の工事。追加の医療機器等これからの件を協議し説明を受けた。

同日15時より臨時議会が開かれた。

管理者から「現2月末現在での工事進捗率は85%。病院出入り口道路改修工事も含め急ピッチで進んでいる。現時点で、常勤医10人、看護スタッフ約65名を含む職員130人体制を予定している。外来は12診療科、入院は当初105床からのスタートである。予防医療の強化を

図り24時間365日の救急医療を堅持していく。4月17日に竣工式を行い、地域の方々への内覧会も計画している。」と報告がされた。

一般質問は山田直志議員、梅本和熙議員、藤井廣明議員、坪井弘司議員、山田昭男議員、計5名が行った。

定例会の議案は、条例の改正・病院名称改正・補正予算、24年度予算案等7件について審議され何れも可決した。

主なものは

平成23年度の共立湊病院組合事業会計の補正予算については、患者数が減ったための補正、交差点改良事業、追加医療機器等について補正をするもの。

平成24年度の予算については、4月は代行制、5月からは利用料金制となる。収入には市町経由の交付金、指定管理費（減価償却）が含まれる。

下田地区 消防組合議会

2月28日に定例会が開かれた。平成23年8月1日から24年1月31日までの事業報告があり、火災発生件数は9件で前年比11件の減、損害額は9,196千円となった。発生地区別では下田市7件、南伊豆1件、河津町1件。救急出動は1,348件で搬送人員は1,260人を搬送。本署846件、河津分署223件、南伊豆分署279件。ドクターヘリは68件の要請、63人が搬送された。予防業務については下田市39件、河津町12件、南伊豆町15件の施設に立入検査を実施した。

議案は条例の一部改正が2件、平成23年度補正予算（第2号）が歳入歳出それぞれ1,273千円減額し、総額を773,177千円、平成24年度予算の総額歳入歳出752,241千円とし、すべて原案通り可決した。

また当局より、静岡県消防救急広域化推進計画に基づき、東部8市8町及びこれを管轄する11消防本部により協議が進められ、平成25年度に実施を目標に24年7月の法定協議への参加に向けて検討を重ねている。



下田メディカルセンター



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の 報告と議会の動き (1月～3月)

1、議長の活動

- ・町村議会議長会
- ・郡議長会
- ・後期高齢者広域連合会
- ・地方議会連絡協議会
- ・富士山世界文化遺産両県民会議（静岡県・山梨県）

2、議会活動

- ・出納検査報告書受領（11月・12月・1月分）
- ・議員説明会－バガテル公園運営について
- ・東伊豆町議会と合同研修会
- ・常任委員会関係議員活動
- ・上河津診療所地鎮祭
- ・高齢者福祉計画策定委員会
- ・地域福祉計画策定委員会
- ・河津駅前広場管理運営委員会
- ・平成24年度第1回定例議会
- ・平成24年度第1回臨時議会

3、町の行事

- ・元旦マラソン
- ・消防団出初式
- ・成人式
- ・賀詞交歓会
- ・第22回河津桜まつりオープニング式典

一部事務組合議会報告

伊豆齋場組合議会

2月23日、平成24年2月定例議会が下田市で開かれた。管理者の石井下田市長の行政報告。議案第1号として平成24年度伊豆齋場組合会計予算が上程された。行政報告で齋場の耐震補強工事と待合室の改修等が24年度行われる。又33年経過している齋場の今後について早期検討が必要で財源確保等の視点から西伊豆齋場との広域での建設も検討課題。組合の基金積立金は2,390千円である。

平成24年度会計予算は歳入歳出それぞれ32,470千円で前年度より9,987千円の減を承認可決した。河津町の負担金は4,064千円である。

東河環境センター議会

2月20日、東河環境センターの議会が開かれた。議案第1号は、平成23年度会計補正予算。議案第2号は、平成24年度会計予算が提出された。補正予算は、可燃物ごみの減少に伴う処理手数料収入の減額と処理費用の減額が審議された。

平成24年度会計予算は、歳入歳出それぞれ662,918千円（前年比9,657千円増）である。河津町の分担金は、231,863千円（前年比4,811千円増）である。歳出のうち焼却炉補修工事や修繕費が多くなっている。それぞれが審議され、原案可決承認された。議会に先立ち、東河環境センター施設等検討委員会設置要項が制定され、委員会により、将来の整備・運営について検討されることとなった。

編集後記

今年の河津桜まつりは、満開の時期が遅れ期間中の人出は70万人弱に終わった。続く春うらら祭には個人客が多数来てくれたが、100万人には届かなかった。この3年間の満開の日が大きく動いている。自然に対処することが必要だが、各地で早咲きの桜祭りが開催されている現在、正月桜や遅咲きの桜を組み合わせた見せ方の工夫も必要。

(土屋 貴)